

がん体験集「こころ綴りあした元気にな～れ」発刊に寄せて

滋賀県知事 嘉田由紀子

がん体験集「こころ綴り あした元気にな～れ」の発刊、誠にありがとうございます。

厚生労働省研究班の推計によれば、生涯のうち、がんに罹患する可能性は男性の2人に1人、女性の3人に1人であると推定されており、本県におきましても毎年5千人を超える方ががんと診断され、治療を受けておられます。

滋賀県では、平成20年12月に『滋賀県がん対策推進計画』を策定し、「がん患者や家族の方々の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上」を大きな目標の一つに掲げ、がん医療の充実はもちろんのこと、患者さんや家族の方がたへの相談支援や情報提供の充実を目指しています。

私事で恐縮ですが、私もかつて、検診で胃がんが見つかり、県内の病院で手術をしていただきました。お陰様で、今では全く普通の生活をしておりますが、その当時は病気に対する不安に日々悩まされたものです。しかし、周りの人たちの言葉に助けられ、自分一人ではなく、その人たちと一緒に頑張ることで苦しみを乗り越えられたことが思い出されます。

滋賀県がん患者団体連絡協議会の皆様が、当事者の方がたの貴重な体験談をひとつにまとめられましたことは、この体験談を通して患者さんや家族の方がたが、苦しいのは自分ひとりだけではなく、同じ思いをしている人がおられることを知り、よりよい療養生活を送るための励みとなると思います。

貴会の益々の発展を祈念し、今後もがん対策の推進にご尽力いただきますことをお願いいたしまして、発刊の言葉とさせていただきます。

